

場面③富士山――

訳18富士の山を見ると、五月の末に、雪がたいそう白く降り積もっている。

訳19時しらぬ

時季をわきまえない

山は富士の嶺(ね)

山は富士山

いつとてか

今をいつだと思つて

鹿(か)の子まだらに

鹿の子模様のようにまだらに

雪の降るらむ

雪が降っているのだろう

問一 季節はいつか。(当時は一年

の始まりが春からになつていて、当時のカレンダーは、春の頃に一―三月を、夏の頃に四―六月を、秋の頃に七月―九月を、冬の頃に十―十二月を割り振って作られていた。)

ア 春 イ 夏 ウ 秋 エ 冬

訳19時しらぬ

時季をわきまえない

山は富士の嶺(ね)

山は富士山

いつとてか

今をいつだと思って

鹿(か)の子まだらに

鹿の子模様のようにまだらに

雪の降るらむ

雪が降っているのだろう

問二 「鹿の子模様」の説明として

正しいものはどれか。

ア鹿の子が雪景色の中に点々という
様子を模様にしたもの。

イ鹿の子の茶褐色の背中
の白い斑点を模様にしたもの。

問三 「今をいつだと思って…雪が

降っているのだろう」とある
が、これは次のどちらか。

ア伝統文化を破壊する者に対する怒
りを表している。

イ見慣れぬ光景に対する驚きを表し
ている。

ここは空白ページです